

企画展示

紙の本と電子書籍で楽しむ  
Chirimen Crepe Paper Books

# ちりめん本

外国人に愛された  
日本の昔話

2014年

5月26日(月)~7月26日(土)

会場 千代田図書館 9階 展示ウォール<sup>ほか</sup>

ちりめん本とは、和紙に皺をよせてしっとりさせ、ちりめんの布の風合いを持たせた小型の和綴じの本です。明治中期ごろから昭和中期にかけて作られました。中でも、日本の昔話をいろいろな外国語に翻訳して美しい挿絵を入れたシリーズが有名で、当時、海外から日本に来た人々のお土産として人気を博しました。

本展では、ちりめん本の魅力についてパネルで紹介するとともに、「<sup>むかしばなし</sup>日本昔噺」シリーズを中心に愛らしいちりめん本27冊を展示いたします。また、千代田Web図書館に収録されているちりめん本の閲覧方法もご紹介します。

精巧な工芸品のような紙の風合いを楽しめるちりめん本と、気軽に身近で楽しめる電子書籍のちりめん本を通して、外国人にも愛された日本の昔話に触れ、童心にかえってみてはいかがでしょうか。

関連講演会

ちりめん本ことはじめ

日時：6月19日(木) 18:30~20:10

講師：榎本千賀氏(大妻女子大学国文科教授)

場所：千代田区民ホール(区役所1階)

主催：千代田区立千代田図書館、勉誠出版

協力：中野幸一氏(早稲田大学名誉教授)、榎本千賀氏(大妻女子大学国文科教授)、iNEO、Panasonic



## 展示関連講演会

# 「ちりめん本ことはじめ」

ちりめん本のルーツが草双紙や浮世絵などにあると言われるのは、どういうことでしょうか？

ちりめん本はどうやって作られるのでしょうか？

制作者である長谷川武次郎はどのような人物なのでしょうか？

初めてちりめん本をご覧になる方に向けて、その歴史や和紙に印刷してちりめん加工を施していく工程などをわかりやすく解説します。「日本昔噺」シリーズやラフカディオ・ハーン(小泉八雲)翻訳シリーズなど、展示するちりめん本を中心に作品紹介も行います。

また、千代田Web図書館でのちりめん本の閲覧方法について、簡単にご説明します。ご自身のタブレット端末など(インターネットにつながるもの)をご持参いただくと、いっそうお楽しみいただけます。

日時：2014年6月19日(木) 18:30～20:10(18:00開場)

講師：榎本千賀氏(大妻女子大学国文学教授)

場所：千代田区民ホール(区役所1階)

席数：100席(参加無料・事前申込不要・当日先着順・立ち見可能)

共催：大妻女子大学国文学会



## 電子書籍で楽しむちりめん本

- 1 千代田Web図書館では、千代田区立日比谷図書文化館が所蔵するちりめん本をどなたでも閲覧できます。その方法をパネルご紹介するほか、デモ機で気軽にお試しいただけます。

※千代田Web図書館とは

電子書籍をインターネット上で貸出・返却するサービスです。千代田区在住・在学・在勤で区立図書館の貸出券をお持ちの方がアクセスできるコンテンツと、どなたでもアクセスできるコンテンツがあります。

- 2 展示会場では、最新の20型高画質4Kタブレットでちりめん本を閲覧いただけます。『ちりめん本影印集成 日本昔噺輯篇』(勉誠出版)に収録されたものの中から、フランス語版・ドイツ語版・ポルトガル語版など珍しいちりめん本を大きく美しい画面でお楽しみください。



タブレットパソコンTOUGH PAD 4K(Panasonic)

### 展示会場情報

## 千代田区立 千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内  
電話 03-5211-4289・4290

**アクセス** 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線  
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

**開館時間** 月～金＝10:00～22:00  
土＝10:00～19:00  
日・祝＝10:00～17:00  
※7月19日(土)～8月31日(日)は、9時に開館します。

**定期休館日** 毎月第4日曜日 ※展示期間中の休館日 6月22日(日)

